

【理容科カリキュラムポリシー】

1. 専門教育

- (1) 理容師資格を視野に入れた「理容基礎科目」及び即戦力となる実践型学習のための「応用科目」を設置する
- (2) ヘアスタイリストコースは、メンズ&レディースのカット,カラー,パーマなど、業界で活躍している講師陣からヘアデザインを学ぶカリキュラムを編成する
- (3) リラクゼーションコースは、女性を対象としたシエステの技術で素肌のお手入れから仕上げまでのメイクを学ぶカリキュラムを編成する

2. キャリア教育

- (1) 業界人や卒業生と連携を図り、キャリア教育プログラム（セルフマネジメント、成長マインドセット、リーダーシップ論）を推進する
- (2) 社会人として必要な表現力とコミュニケーション能力を高めることを目的とした教科課目と実務実習を連動させるカリキュラムを編成する
- (3) マーケティング論、運営管理、簿記、広告と宣伝、店舗設計の各科目を通じ、企画力・提案力を育成することを目的とした「サロンプランディング開発プログラム」を編成する

【理容科カリキュラムポリシーⅡ】

3.人間教育

- (1) 「9つの意識(※職業意識)」を目的としたビジネスマインド教育を編成する
- (2) 教育理念に基づいた所定のカリキュラムを履修し、対話を通じて他者と協働し、「問題解決のために論理的に考える力」と「PDCAを回す思考力と行動力」を身につけるためにLearning型の授業を編成する

【美容科カリキュラムポリシー】

1. ビジネスマインド教育を通して接遇を学ぶ
2. CSR活動、老人ホームボランティアを通し、地域社会やグローバル社会の課題、調査分析を行う
3. 美容師に必要なヘアデザイン、基礎技術力および美容師資格に必要な技術を学ぶ
4. 美容師に必要な知識および美容師資格の知識を、美容技術理論及び衛生科目で学ぶ
5. 美容師に必要な専門的・学問的知見、スタイル作成に基づく選択授業（デザイン）を学び、自身のイメージした作品を創る
6. 上記3項目（3,4,5）を含め産学連携教育を行い、自身のキャリアプランを形成する
7. 化粧品化学の専門的知識の習得および選択課目（運営管理,マーケティング,簿記,広告宣伝,店舗設計）を通して社会調査、顧客データ分析、議論の仕方、プレゼンテーション能力を身につけ、オリジナルシャンプーの作成を行う
8. 2年生後期では、基礎科目においてレベルに応じたクラス編成を行い、少人数クラスにおいて、より高度な知識・技能を取得する国家試験対策を行う

【ビジネス美容科カリキュラムポリシー】

1. エステティックの基礎・応用科目（エステ概論・皮膚科学・解剖生理学・エステティックカウンセリング・高度美容技術等）を設置する
2. 専門知識・技術を学ぶことで知識の応用能力を育成し、問題解決能力・表現能力・判断能力など、専門分野の研究に活かす
3. - ① サロン運営・経営学・広報広告等を学び、集客や店舗運営能力が身につく授業展開を行う
- ② エステティックカウンセリング・ビジネスマインド等を学び、接客能力が身につく授業展開を行う
4. 学外実習や企業連携講習会により、時代にあった技術提案能力の授業展開を行う
5. コンテスト出場や海外研修・ビジネスマインド・課外授業により、業界の新たなリーダーとなりうる、高い課題探求力やプレゼンテーション能力を身につけた学生を育成する

【ビューティアーティスト科カリキュラムポリシーⅠ】

1. 就職後5年間のキャリアプランを明確にするため、ビジネスマインド授業を通して、社会人に必要な知識・マナーを学び、課外授業(宿泊オリエンテーション・美翔祭・匠すと)を通して実証する。
2. - ① ヘアー
顧客のオーダーするヘアスタイリングを提案するために、「似合わせ補正」の知識を学び、コームワーク、ピンニング等スタイリングテクニックを学ぶ。
応用として、オーダーに合わせたコピートレーニング、ブライダルヘアーを学ぶ。
- ② メイク
保健や理論学科を通して皮膚の構造や化粧品知識を理解し、ナチュラルメイクを学ぶ。
特殊メイク、メイクセラピー、接客心理、色彩学、高度な技術を習得し、シーン別のイメージ表現とデザインメイクに合わせ、お客様のオーダー通りのメイクを学ぶ。
- ③ ネイル
ネイルケア、カラーリングなどの基礎ネイル授業や検定対策授業を通して基礎知識・技術を身につけ、流行に合わせたジェルアートを学び、来客実習の場で実践する。

【ビューティアーティスト科カリキュラムポリシーⅡ】

3. ビューティー業界に必要となる美容師国家資格と色彩検定、接客に必要となる接客心理検定とビジネス能力検定、カウンセリングスキルに必要となるメイクセラピー検定、メイクの基本的な証明となるメイクユニオン認定ディプロマと化粧品検定、ネイリストに必須となるネイリスト検定とジェルネイル検定など、それぞれ上級資格を取得する。
4. 相手の為に考え行動し、信頼関係を築くことができる